

森林で沿岸域を守る

— 防災・減災技術の開発に向けて —

Protecting Coastal Areas with Forests: Toward the Development of Disaster Prevention and Mitigation Technology

会期

2022年1月26日(水) 14:00 - 16:30

会場

オンライン開催

参加無料

日本語英語
同時通訳

基調講演

宮城豊彦

東北学院大学名誉教授 /
株式会社アドバンテクノロジー 技師長

1月25日
〆切



参加申込



プログラム詳細

Photo: T. Sugimoto

お問合せ

国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所
REDDプラス・海外森林防災研究開発センター国際セミナー運営事務局 株式会社JTB 西日本MICE事業部
TEL: 06-6252-5049 E-mail: redd-plus2022@jtb.com

主催

国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所

後援

林野庁、環境省、内閣府政策統括官(防災担当)、独立行政法人 国際協力機構(JICA)



森林で沿岸域を守る – 防災・減災技術の開発に向けて –

Protecting Coastal Areas with Forests : Toward the Development of Disaster Prevention and Mitigation Technology



開催趣旨

近年、世界各地で豪雨の強度・頻度の増加や台風の発生頻度の増加等が報告されており、斜面災害の大規模化や頻度上昇、沿岸域での高潮被害の甚大化などのリスクが高まっています。

こうした中、2021年11月には、イギリスのグラスゴーで気候変動枠組条約第26回締約国会議(COP26)が開催され、気候変動の緩和と適応の両面に資する「自然に基づく解決策」として森林の重要性が改めて共有されました。

森林総合研究所REDDプラス・海外森林防災研究開発センターでは、開発途上国における森林による緩和と適応両面の気候変動対策に関する研究に取り組んでおり、適応策として日本の森林機能を活用した防災・減災技術を途上国で適用するための検討を進めています。

日本は、古くから台風や津波などの自然災害に見舞われたことから、森林の防災・減災機能を活用した災害対策として治山技術を培ってきました。沿岸域においては、土砂流出

や洪水、津波、高潮、強風など自然の猛威から生活空間を保護するバッファゾーンとして、居住地等の周辺に海岸防災林を整備してきた歴史があります。森林整備と補助的な施設を組み合わせる治山技術は、比較的低コストであることや木材供給、水源涵養、食料採集の場など森林の多面的な機能も期待できることから、今後防災対策を進めようとする途上国においてもその適用が期待されます。

本セミナーは、途上国の沿岸域で暮らす人々を災害から守る森林技術の開発に向け、マングローブ林の造成と管理について、これまでの経験、最新の知見、現地ニーズと取り組みについて各国から報告します。さらに、「防災・減災機能を有する森林の造成と管理」をテーマにパネルディスカッションをおこない、今後の課題と方向性について議論します。

なお、本セミナーは、令和3年度林野庁補助事業「森林技術国際展開支援事業」の一環として実施します。

プログラム概要

開会挨拶 浅野(中静)透 (森林総合研究所 所長)

来賓挨拶 小坂善太郎 (林野庁 森林整備部長)

基調講演 宮城豊彦 森林で沿岸域を守る – 経験を未来に –

セッション1 沿岸域を守る森林技術

柳澤英明 (東北学院大学) 海岸林の防災機能

小野賢二 (森林総合研究所) 海岸防災林の造成と管理

セッション2 各地の取り組み

Dr. Rupesh K Bhomi (CIFOR) インド

Dr. Nguyen Thuy My Linh (VAFS) ベトナム

Dr. Rodel Lasco (OML Center) フィリピン

Mr. Aporosa Ramulo (Ministry of Forestry,Fiji) フィジー

パネルディスカッション：防災機能を有する森林の造成と管理

基調講演者、セッション登壇者

基調講演者



宮城豊彦



東北学院大学名誉教授 / 株式会社アドバンテクノロジー 技師長

略歴：1951年生まれ。1974年東北学院大学文学部史学科卒。1980年東北大学大学院理学研究科博士後期課程修了(理学博士)、同年東北学院大学文学部助手、同教授を経て2005年東北学院大学教養学部地域構想学科教授に転任。2019年3月に東北学院大学定年退職。2017年6月に、国土地理院から、平成29年度「測量の日」における功労者感謝状を贈呈される。主要な研究テーマは、自然地理学、丘陵地斜面の地形、地すべり地形、マングローブ林の地理生態系。近年は、ハザードマップとGISを活用した自然地理・防災教育もすすめている。

お問合せ

国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所
REDDプラス・海外森林防災研究開発センター国際セミナー運営事務局 株式会社JTБ 西日本MICE事業部
TEL : 06-6252-5049 E-mail : redd-plus2022@jtb.com

主催

国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所

後援

林野庁、環境省、内閣府政策統括官(防災担当)、独立行政法人 国際協力機構(JICA)

